

TOTO

中形サーモスタット

TM440ARX20型
TM440BX20型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意		
	湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	

⚠ 注意		
	浴室、プールなどの連立シャワー用途以外では使用しないでください。 (食品工場や薬品工場の製造設備での使用は禁止) 故障や水漏れの原因になります。	
	凍結が予想される場所に取り付けしないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	必ず実行	フィルター掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、本体左側及び湯側取付脚が熱くないことを確認してください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。	
	使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.6MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
用途		パブリック 連立シャワー用
特記事項		(1)湯圧が水圧より高くないように設定してください。 (2)自動調整機能の性能を確保するために末端器具からの吐水量は、10L/min以上を確保してください。

3 取付け前に

- 給水圧力が0.6MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- やけど防止や配管保護のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 配管は、動かないように必ず固定してください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	その他	
	 取扱説明書  施工説明書  施工注意書 (TM440ARX20型の場合のみ)  開閉工具	
連結管部とフランジ		
 連結管 パッキン付(2個) (TM440ARX20型の場合)	 連結管 パッキン付(1個) (TM440BX20型の場合)	 ニップル (TM440ARX20型の場合のみ)
 フランジ大(1個) (TM440ARX20型の場合のみ)	 フランジ小(2個)	 温度計パッキン付(1個)

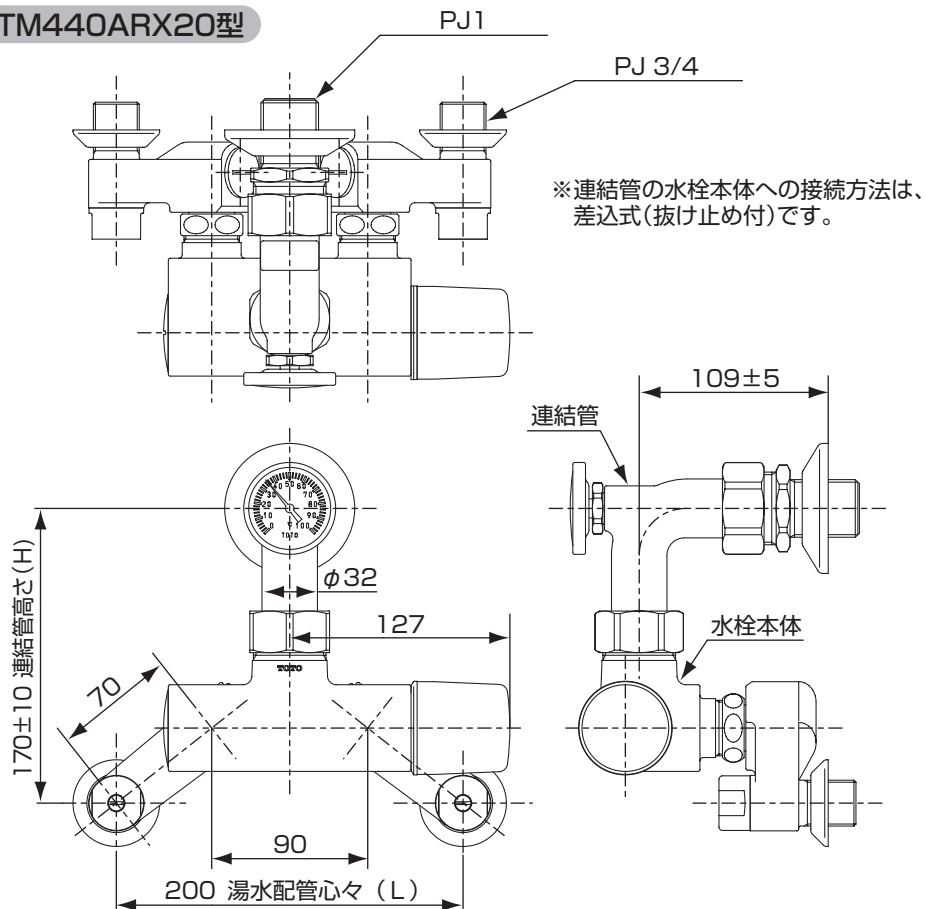
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

TM440ARX20型



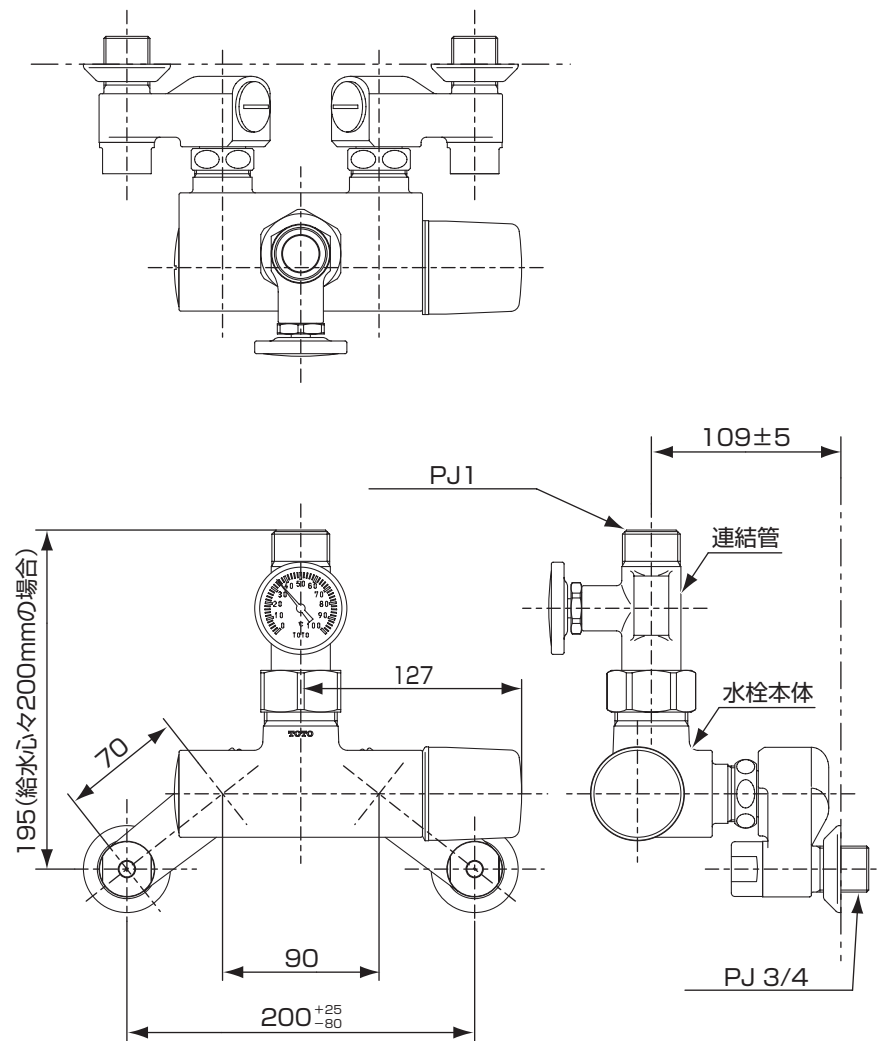
上記は標準寸法を示します。現場配管位置が上記から外れる場合は、湯水配管心々 (L)に合わせて連結管高さ(H)を下表寸法に調整ください。下表寸法以外で無理に取り付けしないでください。「配管接続できない」ことや「水栓が破損して水漏れする」おそれがあります。

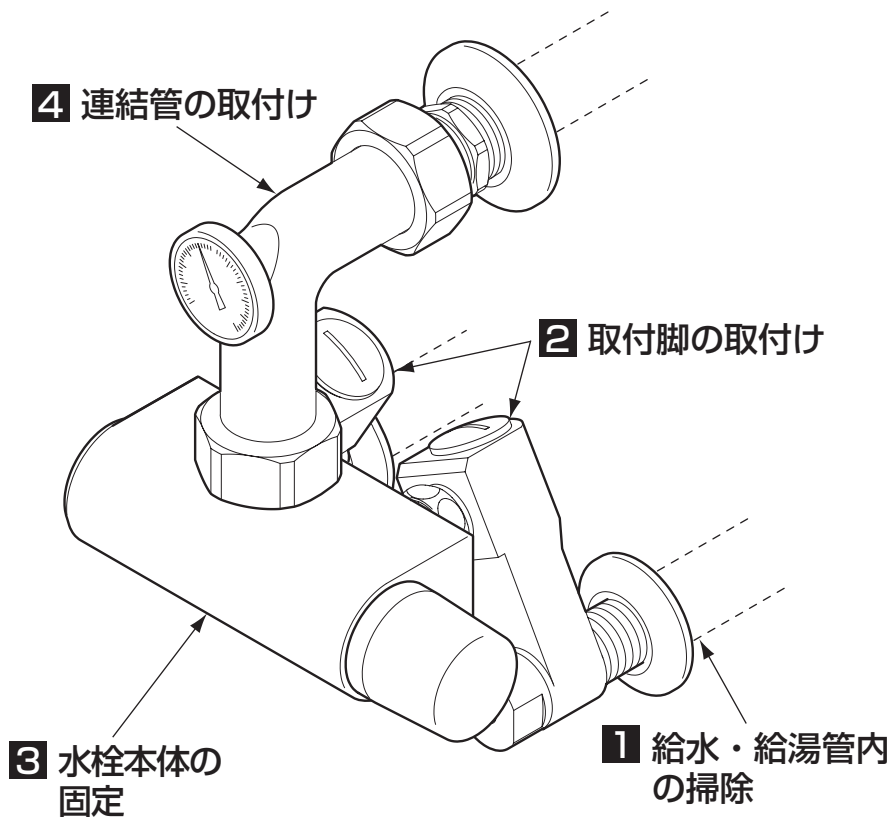
標準寸法

湯水配管心々 (L)	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	215	220	225
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
連結管高さ(H) ±10	195	194	192	190	187	184	180	176	170	163	158	153	145

TM440BX20型

※連結管の水栓本体への接続方法は、つば固定式です。





1 給水・給湯管内の掃除

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

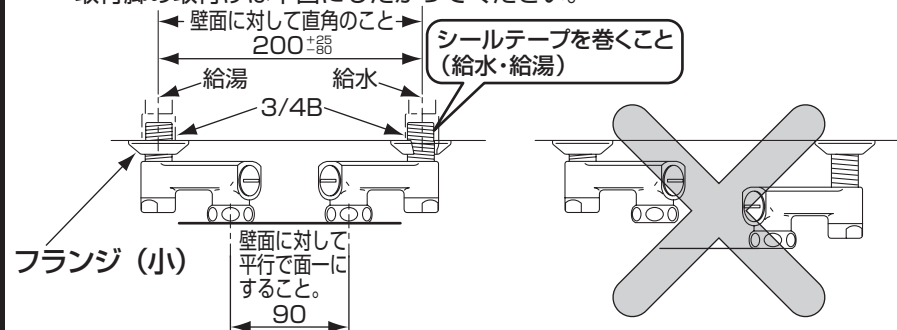
重要

2 取付脚の取付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)

※本体を無理に取り付けると水漏れの原因になります。

取付脚の取付けは下図にしたがってください。



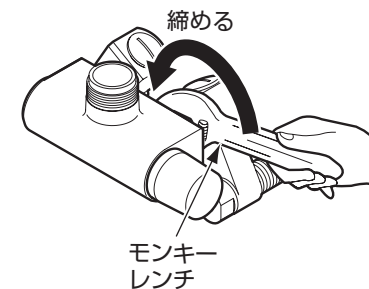
※湯水配管心々200は、標準寸法を示します。この数値がこれより外れる場合、連結管高さ位置も変動しますので、ご注意ください。

3 水栓本体の固定

- ① 水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ② 水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

注意

- 緩みがないようにしっかり締めてください。袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。配管との接続が緩み水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



※以後の工程は給水管の種類により異なりますのでご注意ください。

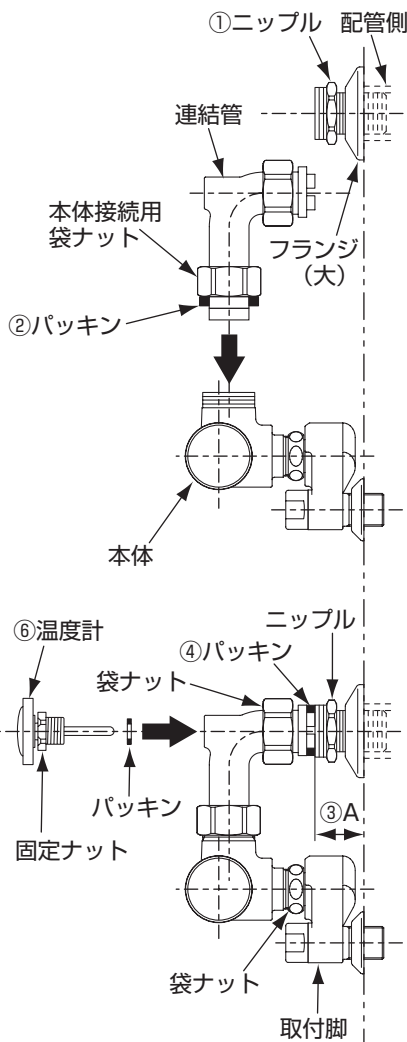
給水管の種類	参照工程
TM440ARX20型タイプ	6-2-A4 へお進みください。
TM440BX20型タイプ	6-2-B4 へお進みください。

裏面へつづく

A 『TM440ARX20型』 の場合

A4-1 連結管の取付け

- ①ニップルを配管に取り付ける。
- ②連結管を本体に差し込む。
本体接続用袋ナットを手で回し、パッキンが本体端面に当たるまでねじ込む。
※連結管を手で強く引っ張れば上下に動かせる程度に本体接続用袋ナットをねじ込む。
- ③ニップルの出代を連結管の端面A寸法に合わせる。
- ④連結管を引き上げ、ニップル位置に合わせて袋ナットを回してニップルに取り付ける。
袋ナットがうまくねじ込めないときは、取付脚の袋ナットを少し緩めて、取り付けてみる。



注意

- 本体接続用袋ナットを緩めることで、ニップル位置に合わせないでください。
パッキンが本体端面に押し付けられていないと水漏れします。
- 位置が合わないときは、配管位置を調整ください。
無理に取り付けた場合、水栓が破損し水漏れするおそれがあります。
- 連結管は切断しないでください。
本体から抜け、水漏れするおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認ください。
水漏れのおそれがあります。

- ⑤袋ナット(本体用2個、取付脚用2個)を十分に締め付ける。

A4-2 連結管の取付け(つづき)

- ⑥温度計を連結管に取り付ける。

注意

温度計を取り付けるときは、固定ナットだけを回して締め付けてください。
温度計を無理に回すと破損することがあります。

その他の注意事項

- 連結管は抜け止め付きですが、配管の固定が弱いとき、水圧により連結管が動くことがあります。
このときは念のためソケット・袋ナットを増し締めしてください。
- 本体に大きな力がかからないよう位置を十分調整して、取り付けてください。

B 『TM440BX20型』 の場合

B4 連結管の取付け

- ①連結管を本体と配管側に取り付ける。
※本体側には、パッキンが入っていることを確認し、袋ナットを十分締め付けてください。

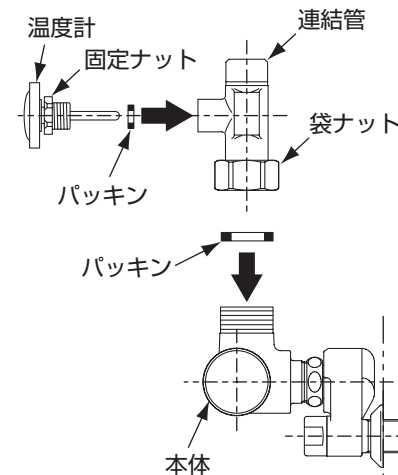
注意

この取付けにより、本体に大きな力がかからないよう、位置を十分調整して取り付けてください。
水栓が破損し、水漏れするおそれがあります。

- ②温度計を連結管に取り付ける。

注意

温度計を取り付けるときは、固定ナットだけを回して締め付けてください。
温度計を無理に回すと破損することがあります。
※右図ご参照。

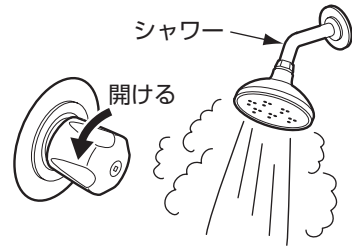


7.1

施工後の調節

1. 水出し確認

中形サーモ及び連立するシャワーの取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、シャワーから水が出るか確認してください。

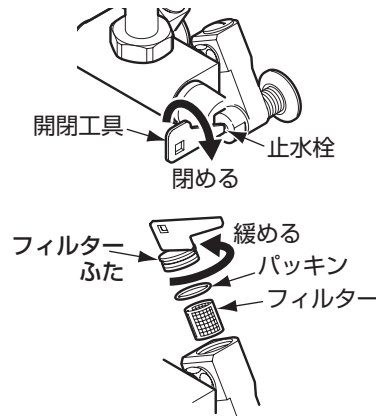


2. フィルターの掃除

取付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターがつまると流量が少なくなったり、水、又は熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

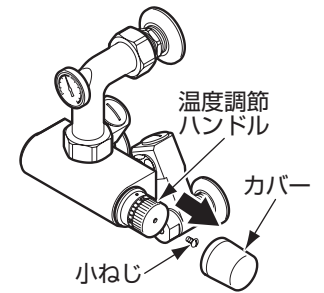
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。また、本体左側及び湯側取付脚が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日頃のお手入れ」を参照してください。)



3. 流量の調節

連立シャワー全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

1. カバーと小ねじを外す。

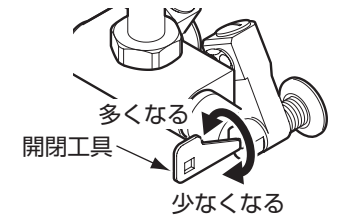


2. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、水側止水栓で調節する。

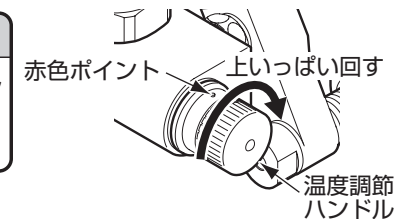
※時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



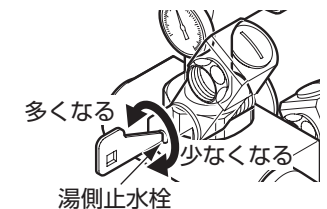
3. 温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回し、1.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



⚠ 注意	
! 必ず実行	湯側の調節を行うときは十分注意してください。 熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。



4. カバーと小ねじを取り付ける。



4. 吐水温度の確認

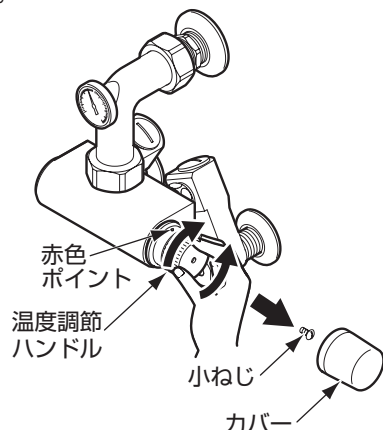
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は、吐水温度より10℃以上高く設定してください。

2. カバーと小ねじを外す。

3. 温度調節ハンドルの目盛り“40”を赤色ポイントに合わせる。



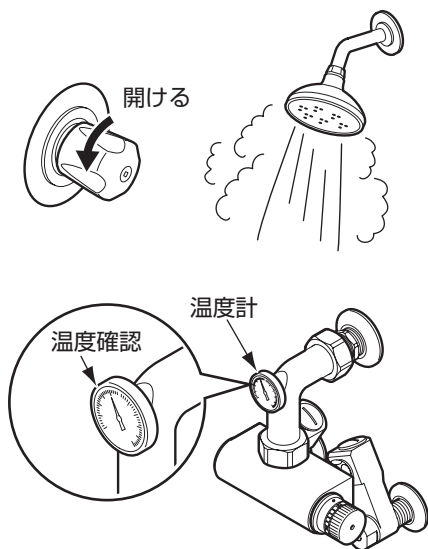
4. 連立シャワーの湯を出す。

5. 温度計の温度を確認する。

温度計の温度が適温(およそ40℃)であればそのままご使用いただけます。

温度計の温度が適温からずれている場合は **5. 温度調節ハンドルの設定** を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。

配管の状況により、表示される温度と実際の温度が異なる場合があります。



5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。

1. 連立シャワーのハンドルを開にする。

2. カバーと小ねじを外す。

3. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく温度計の針が“40”に合うまで温度調節ハンドルを回す。

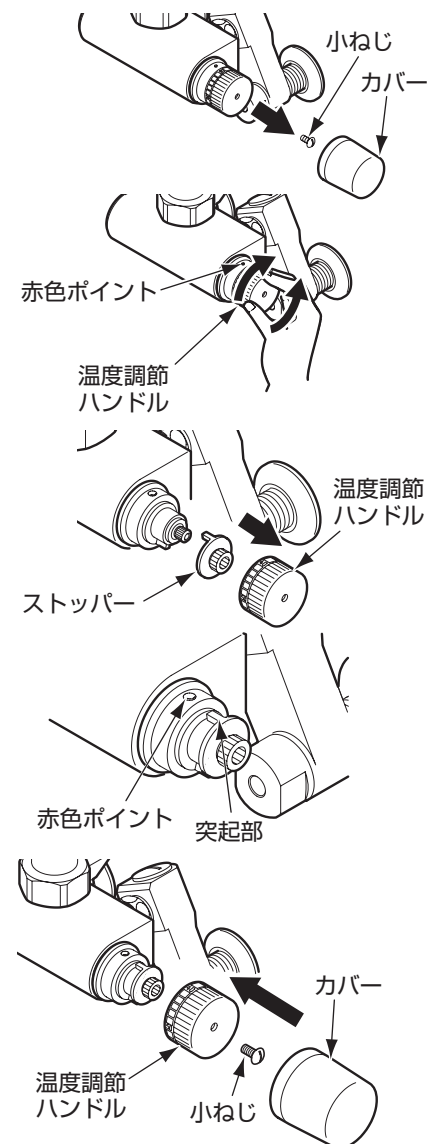
シャワーなど多数連立して使用する場合は、約半数を吐水させた状態で確認してください。

4. 温度調節ハンドル及びストッパーを抜き取る。

5. ストッパーの突起部が赤色ポイントに合うようにはめる。さらに温度調節ハンドルをはめ小ねじで固定する。

6. カバーをねじ込む。

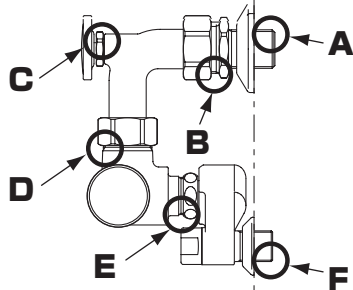
7. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



B・C・D・Eから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

A・Fから水漏れがある場合

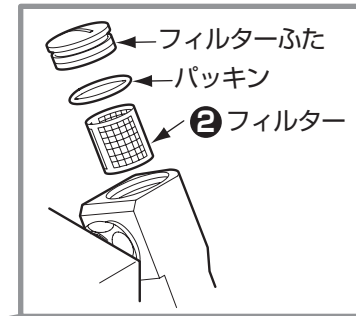
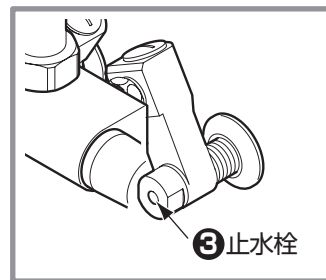
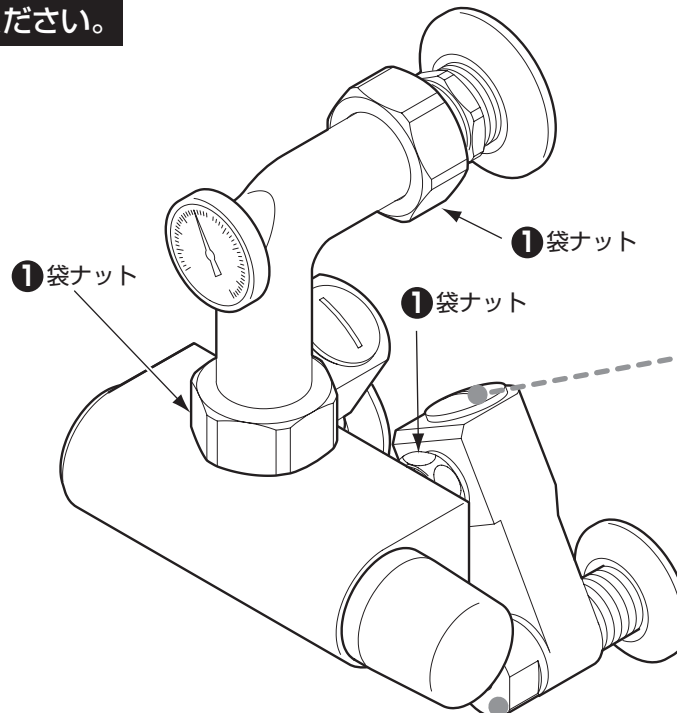
配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認の上、再度取り付け直してください。

ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 袋ナットの緩みはないですか？

- **6-1** - **③ 「水栓本体の固定」** 参照
- **6-2** - **A4 「連結管の取付け」** 参照
- **6-2** - **B4 「連結管の取付け」** 参照



流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

② フィルターのごみづまりはないですか？

↳ **7-1** **2. フィルターの掃除** 参照

③ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。

7-1 **3. 流量の調節** 参照

④ 給湯温度は十分ですか？

↳ **7-2** **4. 吐水温度の確認** 参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。